

憲法9条の会つくば



コミュニティニュース

2010. 3. 21 No.32

結

発行「憲法9条の会つくば」

〒305-0005 つくば市天久保 1-10-12, 1-401

電話 090-3811-3753 Fax 029-857-6978

<http://peace.arrow.jp/tsukuba/>

歴史を踏まえ、平和な地球の実現を目指して、

今、憲法9条を生かすために力を合わせましょう。

梅から桃・桜への季節です。冬季オリンピック開催地、“カナダの歴史・風物を愛する人は皆カナダ人だよ”と呼びかけるなかで、全力を尽くして競技した選手たちの姿はとても印象に残りました。

5月にニューヨークで開かれる核不拡散条約（NPT）再検討会議を前に、日本や世界各地の草の根の運動と共に、国連決議でも、ベルギーなどの欧州政府においても、核廃絶の交渉を開始することを求める声が大きく広がっています。

5月と言えば、安部晋三元首相の下で強行採決された「改憲手続き法」（マスコミは国民投票法と呼んでいる）の凍結期限が18日に終了します。余りに欠陥だらけなので3年間凍結され、検討課題が附則等に盛り込まれました。しかしこの間、18歳投票権や広報のあり方、公務員の政治活動、承認要件の過半数の分母をどうするかなど、なんらの議論がされていません。凍結を延長するか・廃止するかが順当だと思います。国会がこの事実をうやむやにしたままで、施行が自然成立することがないように声をあげていこうではありませんか。

そして、普天間基地の撤去・移設問題です。米軍占領下で不当に民有地が接収された普天間基地は、米国が自ら世界一危険な基地と認めています。だからこそ1996年に全面返還が合意されたのです。しかし、米国の要求に従った移転先探しでは13年たっても撤去できません。先の名護市市長選挙で名護市民は、飛行部隊のキャンプ・シュワブ沖への移設を拒否し、基地のない名護市の繁栄を選択しました。基地の撤去は、今や沖縄県民の総意となっています。民主党は先の総選挙で県外・国外移設を公約しました。従来の移転先探しのやり方を改めて原点に戻り、まず米国政府と無条件撤去を交渉するべきではないでしょうか？ 根本的な解決こそ将来の禍根を断ち、日本と米国の真の友好を築ける道ではないでしょうか？

今月10日の各新聞は、核密約の「有識者委員会」の検証報告書についての報道で一杯でした。「委員会」は公式文書としての「討論記録」の存在を認めているもかかわらず、事前協議無しの核兵器搭載艦の寄港を「暗黙に合意していた」と結論しています。「討論記録」では、寄港は事前協議に左右されないと明確に「記録」されています。密約を公式に結んでいたこの事実を、「暗黙の合意」としてうやむやにするのは許されません。政府と国会には核密約について充分検証するとともに、唯一の被爆国として非核三原則を遵守するよう求めたいと思います。

さあ、春です。自然の元気をいただいて、憲法9条を守り生かすために頑張りましょう。



「結」31号のおもな内容

- 1面：今、憲法9条は
- 2面：賛同を拡げる運動、署名行動、個人署名インタビュー、地域の行動から
- 3面：市民活動フェスティバル、カンパの報告、文芸9条ほっとタイム、「賛同人のひとこと」など
- 4面：「戦争を想う、平和を想う」など

行動予定

- 4月4日(日)： 定例署名行動
11時半～13時 中央公園アルス図書館前集合
- 4月4日(日)： 関東ブロック交流集会 10時～16時
正則高等学校（東京都港区）
- 4月16日(金)：事務局会 19時～21時半 並木公民館
- 5月1日(土)： つくば中央メーデー署名行動
8時半～9時 中央公園集合
- 5月16日(日)：定例会 10時～12時半 並木公民館

会の活動から

出会いと対話

・ ・ 2月の署名行動から ・ ・

定例街頭署名の日は、隣の中央公園で「つくいち」という朝市が開かれ、有機野菜や手作りパン等を販売しています。この市場を目的に常陸太田市から出かけてきたという若いお母さんに署名をお願いし、その後は安心、安全な食物のことで話がはずみました。

若い男性（学生とのこと）が近寄ってきて「ずっと考えていたのですが、署名します。」と言って署名してくれました。こちらの呼びかけの前に自ら応じてくれるとは、うれしいものですね。

20代の女性、日本とアジア諸国民の悲惨な戦争体験を、二度と繰り返さない誓いとして9条があると話しすると力強く“やりましょう！”との声、たくさんの元気をもらえますね。

今回は署名欄つきのチラシを配布したのですが、アルスからの帰り道、早速5人分の署名をして渡して下さった方がおりました。沖縄の普天間基地問題などで対話し、賛同人にもなって頂きました。（武田）

◆賛同人 2010年3月10日現在
総数 733名（市内 552名）

◆9条署名 3月8日現在 累計：8065筆
2月定例街頭署名：66筆
3月定例街頭署名は雨天のため中止
個人署名：協力延べ46人、2009年2月からの累計：534筆

続々！ 個人署名 “署名行動は活力源！”

H.Kさん； 職場の組合にお願いして、署名に協力してもらった。

N.Nさん； 出先ではいとわず、自分から署名をお願いしたり、先方に協力をお願いして集めてもらったりしている。皆さん協力してくれる。今、運動が広がっていないよ

うと思う。賛同人かと思う方でも、周りに訴えきれてないようである。どこでも、だれでも、だめもとで積極的に声をかけていなければならないのではないか。これからも買い物先で出会った人や電車で隣あわせた人などにも声をかけていこうと思っている。先日も電車で高校生と9条を話した。とても好意的だった。

S.Yさん； 9条の会全体で少しずつであるが署名が集まってきている、すばらしいと思う。常に身近なこととして署名を考えているが、なかなかできない。イベントなどをきっかけに話しかけている。

Y.Kさん； 若い頃、ベトナム戦争の映像画面を見て、単純に「嫌だな、戦争のない世の中になればよい」と思った。戦争中は人が人でなくなる、人の思いまで変えてしまう。そんな嫌だな、戦争は絶対いやだなと、自ら行動を起こす責任をつきつけられている。日常生活の中での自分の課題と考えている。

Y.Tさん； いろいろやっているのので、「9条の会」でない場や会合などで署名をお願いしている。

S.Kさん； 9条署名をやらねばと、いつも思っているが、いろいろと忙しく、なかなか思うようにいかない。回りの人たちにも声をかけていきたいと思い、署名用紙をポケットに忍ばせて、ちょっとでも機会があれば、お願いするように心がけたいと思っている。

N.Oさん； 元職場のOB会の集まりなどや元同僚に署名をお願いした。きっかけがあればと思い、いつも署名用紙を持ち歩いている。

K.Kさん； 茨城県後期高齢者医療制度（姥捨て制度）の4月からの保険料値上げが撤回されたが、短期間で集められた9000余筆の請願署名が効いたという。そのとき私が集めた個人署名は30筆ほどだが、署名が成果につながった初体験であった。それ以来、姥捨て制度廃止、ハツ場ダム等中止、そして我らの「憲法9条守れ」の署名用紙をセットにして持ち歩いている。行動のなかで、多くの市民が交代した政権に限界を感じつつも、もはや後戻りを望んでないことがわかる。憲法9条を含む署名行動は、最近の私の活力源となっている。



地域の行動から

住民の一角を超える賛同人が住む地域です。これまでに「設立のつどい」へのお誘いや「国民投票法案反対」、「設立記念のつどい」の案内などのチラシを全戸配布しています。また賛同人の皆さまと協力して、地域の戦争体験者からその体験を聞く会をもち、小中学生が自主的に参加して想いを語ってくれたという感動的な経験もしています。でも「9条署名」は取り組んでいませんでした。今回は「9条オリジナルチラシ」の裏面に「署名用紙」を印刷したチラシを全戸に配布し、署名をお願いしました。結果として13世帯から42筆の署名が届けられました。予想してなかった高い反応に驚き、とても励まされました。次は署名お願いの各戸訪問をと、そっと決意しています。（S.I）



市民活動フェスティバル に参加して

日頃、「結」の印刷などでお世話になっている市民活動センター主催の「市民活動フェスティバル」(2月27日)に、「登録団体」として参加しました。当会の成り立ちや活動を写真で紹介するパネル(右図)を展示しました。

メインの講演・シンポジウムや懇親会は、地域や自治会の活動をどうしたら活性化できるかというテーマが主体でした。(事務局)



♪♪♪ ありがとうございます ♪♪♪ ——— カンパのご報告

前号の「結」にカンパのお願いを同封させていただきましたところ、たくさんの方からカンパをお寄せいただきました。この誌上をお借りして厚く御礼申し上げます。

添えて下さった心温まるメッセージをいくつかご紹介させていただきます。

- ・ いつも取り組みに参加できず、申し訳ありません。こんな時代、これからもよく注意していきたいと思っています。お世話になりありがとうございます。
- ・ まだまだ寒さが続きます。皆様お体に留意して運動頑張ってください。陰ながら応援しています。
- ・ 平素の活動に感謝しております。名前だけの参加で申し訳なく思っております。
- ・ 毎度「結」を楽しく読ませていただいています。

今後も「輝け! 憲法 守ろう! いのち」の声を大きく拡げていきましょう。



賛同人のひとこと

「憲法9条の会つくば」が掲げる「輝け 憲法、守ろう いのち」という標語に心より共感します。

貧しさ(精神的なものも含めて)と戦争ほど人を不幸にするものはありません。今の社会では、貧富の格差の増大、働く喜びを奪われた多くの人々の存在等々、人間疎外の状況が進んでいます。このような状況を改善するには、思考停止に陥っているマスコミや現在の政治を変えていく必要があるでしょう。そのためにも憲法9条の精神を生かした運動が、今こそ必要なのだと思います。(M)

お知らせ

◇ 「結:文芸9条 ほっとタイム」では、皆様からの俳句・短歌・絵手紙・詩などの作品を募集しています。

◇ 茨城憲法川柳を募集しています。

募集期間: 3月10日~4月20日

応募要領: 作品の題材は、日本の平和を大切に考え、人権・平和の尊さを訴えるもの。投稿は郵送またはファックスにて。詳細は下記または当会事務局までお問い合わせください

送付先&問合せ先: 5・3憲法フェスティバル実行委員会事務局

〒310-0015 茨城県水戸市大町 3-1-24

Tel. 029-231-4555 Fax. 029-232-0532



戦争を想う、平和を想う

戦争と難民—あなたも私も、安倍さんだって、戦場に放りこまれたら野犬になる
渡辺 正幸 (つくば市市ノ台)

黒沢明の名画“用心棒”は空っ風が吹きすさぶ宿場町を野犬がヒョコヒョコと歩くシーンで始まる。私はその身に覚えのあるシーンに激しい悪寒を覚えた。犬は切り落とされた人間の腕を啜っていた。あわれな腕の持ち主が生命を取り留めたかどうかは定かでないが、確かなことは、持ち主を離れた腕が野犬の食糧になったということだ。

私が国民学校1年生だった1945年6才の夏、中国の瀋陽(旧奉天)付近で見た野犬の群れが啜っていたのは人間の嬰兒だった。60年前に私の眼の前を嬰兒を啜えて通る野犬を見て私はなんの感情も抱かなかった。暑熱と酷寒の中、ボロを着て顔に墨を塗って丸坊主にした女を混じえた日本人の群。ときに無蓋貨車に詰められて仲間をこぼしながら移動する。体力のない者から順に脱落する日々だった。子供の泣き声が漏れると襲われるリスクが大きいので、「殺せ」と云われる漆黒の闇。飢餓状態の難民には母乳がでない。殺すよりはと路傍に置いた乳児が野犬の餌食になった。散乱する夥しい人馬の遺体。寒風の中を裸同然で動く難民の群。身の安全は、彼ら自身も極貧の中国の人々の自制心が頼りという極限の日々。死者がでなかった日はなかったと思うが弔いの記憶は、引揚船が遺体を海に流したあと周回したことを除いて、全くない。6歳だった私は1歳の弟を背に、左右に水筒と小物袋、胸に着替えの袋という出で立ちで歩いた。

1年後の8月に広島に着いた。写真は日本の土を踏んだ日の夜の私そのものである。全身に浴びたDDTを払い落とし、「もう殺される心配はない」と安堵したときに、弟の命が尽きた。たくさんの死が目の前にあっても出なかった涙がみんな



ジョー・オダネル著「トランクの中の日本」(小学館)より

の目から初めて流れた。写真の少年は弟の亡骸を背に焼場の火を浴びて立っている。彼が経験した苦痛と悲しみに1945年以降今もなお耐えている人が、アジアに、アフリカに、アラブに居る。

戦場で、難民キャンプで、人は必ず、われ先に逃亡した高官も含めて例外なしに、他人の不幸と死に無感覚になる。最後には「人に会うのが最も恐ろしい」境地に人を陥れる。戦争は、その動機が「共通の価値観」であれ「××主義」であれ何であれ、人を野犬にする。野犬になりきれない人は狂う。表に出た大日本帝国の指導者は美談に彩られたが、勇ましい言辞を弄した人ほど死に際が悪い。現場の兵士には、アメリカの事例にも見るように、秘匿されてはいるが精神を病んで暴発した人が多くいたはずだ。過去に歴史を前進させた戦争は確かにあったが、われわれは「戦争はコリゴリだ」と思ったし、決して戦争を手段にしてはいけないと誓った。

インフォメーション

- ◇「荊崎9条の会 4周年記念集会」: 3月28日(日) 14:00~16:00 荊崎公民館研修室
内容: DVD 上映「加藤周一さん 憲法九条を語る ~憲法九条を『守る』から『活かす』へ『平和的生存権』にかけるメッセージ~」 自由討論: 憲法をめぐる動きと各地の9条の会の運動
問い合わせ: 荊崎9条の会 Tel. 029-876-1545, Fax. 029-876-1608
- ◇「憲法九条土浦の会 結成5周年のつどい」: 4月25日(日) 13:30~16:00 土浦市民会館小ホール
記念講演: 「日露戦争と歴史の真実 [坂の上の雲]ではわからないこと」
講師: 山田 朗 氏 (明治大学文学部教授 日本近現代史)
一般700円、学生300円 問い合わせ: 憲法9条土浦の会 Tel. & Fax. 029-831-6288
- ◇「つくば中央メーデー」第81回筑波研究学園都市圏統一メーデー: 5月1日(土) 9:00~15:00
つくば市中央公園 問い合わせ: 学研労協 Tel. 029-861-7320
- ◇憲法フェスティバル: 5月3日(憲法記念日) 10:30~15:00 場所: 水戸市千波湖・はなみずき広場
内容: 10:30~12:00 各団体の広場企画、12:30~15:00 仲山忠克氏の講演(沖縄・反戦地主会 弁護士)、「エイサーの舞」、「憲法(平和)川柳」など 参加申込は当会事務局まで(連絡先1面に記載)
- ◇映画「嗚呼 満蒙開拓団」(羽田澄子監督): 5月29日(土) 第1回 13:30 第2回 18:30
土浦市民会館小ホール 一般 1000円 当日券 1200円、高校生 800円 駐車場無料
問い合わせ: 「嗚呼満蒙開拓団」上映実行委員会 Tel. 029-857-6369(横山)